

令和 6 年度天皇杯受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

「経営改善」の軌跡とパン用小麦の拡大に向けて

○氏名又は名称 株式会社 イカリファーム（代表 井狩 篤士）

○所 在 地 滋賀県近江八幡市

○出 品 財 経営（水稻、麦、大豆）

○受 賞 理 由

・地域の概要

近江八幡市は、滋賀県のほぼ中央、琵琶湖の東側に位置している。耕地面積の90%以上が水田であり、稲作を主体として、麦、大豆を組み合わせた土地利用型農業が展開されている。また、琵琶湖などの環境に配慮し、環境にこだわった農産物の生産や地球温暖化及び生物多様性に配慮した営農活動に取り組む農業者が多い。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

株式会社イカリファームは、水稻、麦、大豆の生産から流通・販売まで手掛ける大規模土地利用型法人であり、担い手不足の農地を積極的に受託している。作目ごとに利益率を算出し、社員にも収益が見える化して収量や売り上げの目標を立て、利益率の高い麦や大豆を主力に据えた経営が行われている。生産管理 ICT ツールを導入し、データを活用した栽培管理やマニュアル化による作業の効率化、トヨタ式「カイゼン」の導入により社員が無駄なく作業を行う環境づくりを行っている。

・受賞者の特色

（１）パン用小麦の生産と販路開拓

給食パン製造会社との連携を契機にパン用小麦に切り替え、自社で乾燥調製施設と低温倉庫を建設し、集荷・乾燥・保管・検査・物流・販売までを自社で完結できる仕組みを作り上げた。他の参画農家の生産した小麦も含め、ロットごとの成分分析をもとに製粉会社の求める品質にブレンドするなどして、学校給食や大手コンビニエンスストアから原料として高い評価を得て、参画農家とともに所得向上を実現し、県内学校給食用パンは県産小麦 100%に切り替わった。

（２）女性の活躍

井狩氏の妻、史子取締役が教員であった自身の経験を活かして人材育成を担うとともに、女性社員が能力を活かしてパスタや菓子等の加工品の開発、食育・農業体験イベントを行うほか、産休・育休の導入、労働環境整備を行い女性が活躍する場を積極的に創出している。

・普及性と今後の発展方向

当面 15 年後の目標を定め、ロードマップとして 5 年おきの売上、社員数、目指す姿を社員と共有している。生産部門では、「小麦王国」の実現に向けパン用小麦のさらなる面積拡大、収量の増加を図る方向である。これを実現するため、人材育成を重要課題に据えて技術向上の取組や労働安全対策、ICT の導入による生産効率の向上を目指しており、組織の活性化と地域農業の発展に向け活躍が期待される。